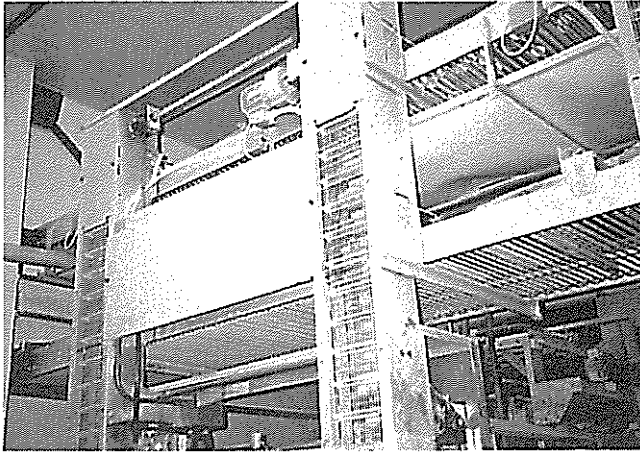


ハイテム 2段乗り移り集卵システム 西日本のレイヤー農場で稼働

エッグファームオート
メーションを推進してい
る(株)ハイテム(安田勝彦
社長)本社・岐阜県各務
原市テクノプラザ二一
〇)は、多品種化するタ
マゴの集卵を効率化する
ために、一台の集卵機か
ら三ラインのバーコンベ
アに選択的に乗り移らせ



2段乗り移り集卵機「ハイテム
ツインヘッドエスカレーター」

ることが可能な、二段乗りに納入した。

り移り集卵システムを開
発し、西日本地区の農場
消費量は世界のトップレ

ベルで、しかも特殊卵
(ブランド卵)の数が多

いため(全国では千数百
種類といわれている)、
レイヤー農場の自動集卵

システムも、欧米に比べ
てきめこまさが要求さ
れはじめています。

ハイテムが独自に自社
開発した二段乗り移り集
卵機「ハイテムツインヘ
ッドエスカレーター」

は、このニーズに応えた
もの。破卵知らずのこれ
までの機能はそのまま受
け継いでいる。

ハイテムでは、日ごと
に変化する産卵率に対応
し、集卵室や農場G P

に、設定個数の鶏卵を送
り続けるエッグフローコ
ントロールシステムと、
このシステムを確実に作
動させるために必須の高
精度のエッグカウンタ
「アキュラント」を開発
し、多くの実績を挙げて
いる。

今回開発した「ハイテ
ムツインヘッドエスカレ
ーター」は、エッグフロ
ーコントロールシステム
とともに、日本のレイヤ
ー農場の効率的な自動集
卵に一役買えることが期
待され、発表と同時に注
目されたことから、近く
東日本地区の農場へも納
入されるという。

飼料高、人件費高、新
鮮・安全へのこだわり、
環境問題などを背景に、
日本の養鶏現場は厳しさ
と同時に、急速に世界ト
ップレベルに達しつつあ
る。ハイテムでは、今年
から稼働した新工場の施

設を活用し、日本の養鶏
農場のニーズに応える努
力を積極的に行き、世界
に発信できる養鶏設備の
開発を目指したいとして
いる。

から稼働した新工場の施